

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

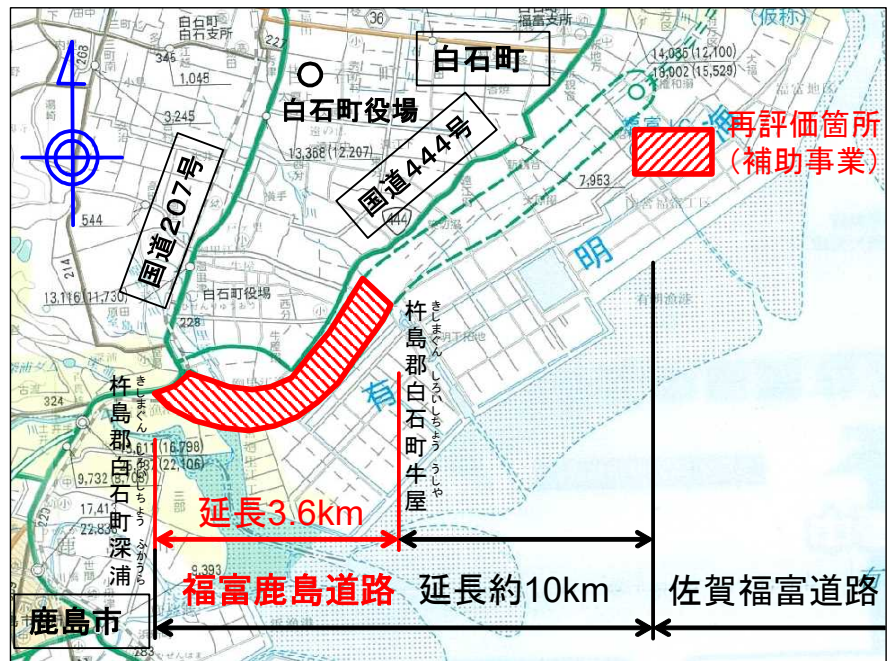
事業名	地域高規格道路 有明海沿岸道路 一般国道444号 福富鹿島道路	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県	
起終点	自：佐賀県杵島郡白石町大字牛屋 至：佐賀県杵島郡白石町大字深浦			延長	3.6 km	
事業概要 福富鹿島道路は、有明海沿岸道路の一部を形成し、有明海沿岸地域の各都市間の交流を促進し、有明佐賀空港、重要港湾三池港などの広域交通拠点との連携を強化するとともに、並行する一般国道444号等の混雑緩和・安全性の向上を目的とした道路である。						
平成17年度事業化	都市計画決定 無し	平成一年度用地着手	平成一年度工事着手			
全体事業費	約164億円	事業進捗率	約2%	供用済延長	— km	
計画交通量	19,800台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	2.8	総費用 (事業費/事業全体)	134/140億円	総便益 (残事業/事業全体)	391/391億円
	(残事業)	2.9	事業費	131/137億円	走行時間短縮便益	311/311億円
			維持管理費	3/3億円	走行経費減少便益	68/68億円
					交通事故減少便益	12/12億円
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=2.5~3.1 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=2.5~3.1 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=2.2~3.4 (事業期間±20%) (残事業) 交通量 : B/C=2.6~3.2 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=2.6~3.2 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=2.3~3.5 (事業期間±20%)						
事業の効果等 ・有明海沿岸道路の一部を形成しており、有明海沿岸地域全体の地域間交流を促進し産業や観光の活性化に大きく寄与することが期待される。 ・時間短縮・定時制の確保 有明海沿岸道路の整備により、福岡県大牟田市から佐賀県鹿島市までの所要時間の短縮（約1時間短縮）が期待される。 ・現道の交通渋滞の緩和 国道444号の交通渋滞の緩和、安全性の向上が期待される。						
関係する地方公共団体等の意見 ・佐賀市から鹿島市までの沿線市町、県議会議員、商工会等で構成される有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）等により早期整備の要望が行われている。						
事業評価監視委員会の意見 ・佐賀県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・隣接道路である地域高規格道路「佐賀福富道路」において、平成28年3月に芦刈IC～芦刈南IC間のL=2.0kmの供用を開始し、福富鹿島道路全体でL=6.5kmを供用しており佐賀県内の道路網も順調に整備されている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地取得率約0%、事業進捗率約2% ・これまでに、環境影響評価の手続き及び測量・調査・設計を実施してきている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・今後も地元や関係機関と調整を行い、早期事業着手を目指していく。						
施設の構造や工法の変更等 ・軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト削減を図る。工事で発生する残土を盛土等に流用する。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						

費用対効果の高さや円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案すると事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



福富鹿島道路



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。